

## ■一般目標 (GIO)

部分床義歯の構成要素を理解し、講義で修得した理論をもとに、1学年次に製作した支台装置を用いて人工歯の排列、重合、研磨を通して部分床義歯製作の技工術式および注意点を理解する。線鉤の屈曲法とプライヤーの基本的な使用法を修得する。

## ■到達目標 (SBOs)

- ・部分床義歯における人工歯の排列法について修得することができる。
- ・歯肉形成の術式を修得することができる。
- ・蠟義歯の流蠟法、レジンの填入法および重合法について理解することができる。
- ・義歯の研磨法について理解することができる。
- ・屈曲法とプライヤーの基本的な使用法を修得することができる。

■教科書：最新歯科技工士教本 有床義歯技工学（医歯薬出版）

■参考資料：プリント配付

■授業時間：火曜日 18:50～21:15

■オフィスアワー：市川 裕美 (ichikawa.hiromi@nihon-u.ac.jp) 火曜日・17:00～17:45

■成績評価：実習製作物を評価（100%）し、フィードバックを行う。

■注意事項：定められた工程で検印を受け先に進める。検印のない製作物は評価しないので注意すること。

■授業方法：模型を用いた技工作業を実習形式で行う。

■準備学習：実習内容に関連する項目を事前に教科書で確認しておくこと。

■準備学習時間：必要な時間（1時間程度）を充てて予習を行うこと。

■実務経験：市川 裕美：歯科技工士としての臨床経験をもとに、講義で学んだ知識と本教科の実習内容を結び付けながら部分床義歯についての技工工程をわかりやすく丁寧に教えていく。

■関連教科：有床義歯技工学（部分床義歯技工学）（1年）

## ■予定表：

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回4月6日 市川 裕美 山本 哲也	1. 咬合器装着（1）	・作業用模型を咬合器の基準位置に合わせ、装着する方法と技術を修得することができる。
第2回4月13日 市川 裕美 他	1. 咬合器装着（2）	・作業用模型を咬合器の基準位置に合わせ、装着する方法と技術を修得することができる。
第3回4月20日 市川 裕美 他	2. 蠟義歯の作製（1） 1)人工歯排列	・部分床義歯における人工歯の排列法について修得することができる。
第4回4月27日 市川 裕美 他	2. 蠟義歯の作製（2） 1)人工歯排列	・部分床義歯における人工歯の排列法について修得することができる。 ・部分床義歯における咬合調整法について修得することができる。
第5回5月11日 市川 裕美 他	2. 蠟義歯の作製（3） 2)咬合調整 3)歯肉形成	・部分床義歯における咬合調整法について修得することができる。 ・歯肉形成の術式を修得することができる。
第6回5月18日 市川 裕美 他	2. 蠟義歯の作製（4） 3)歯肉形成  蠟義歯の完成・提出	・歯肉形成の術式を修得することができる。 ・歯肉形成の細部を点検し、蠟義歯を完成させることができる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第7回 5月25日 市川 裕美 他	3. 蠟義歯の埋没 (1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蠟義歯のフラスク埋没について、方法および注意点を理解することができる。</li> </ul>
第8回 6月1日 市川 裕美 他	3. 蠟義歯の埋没 (2) 4. 蠟義歯の流蠟	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蠟義歯のフラスク埋没について、方法および注意点を理解することができる。</li> <li>・ 蠟義歯の流蠟法について理解することができる。</li> </ul>
第9回 6月8日 市川 裕美 他	5. 床用レジンの填入, 重合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レジンの填入法および重合法について理解することができる。</li> </ul>
第10回 6月15日 市川 裕美 他	6. フラスク開盆 7. 研磨 (1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フラスクからの重合した義歯の取り出し法について理解することができる。</li> <li>・ 義歯の研磨法について理解することができる。</li> <li>・ フラスクからの重合した義歯の取り出し法と注意点を修得することができる。</li> <li>・ 義歯の研磨法について、特にレーズを用いた研磨の注意点を修得することができる。</li> </ul>
第11回 6月22日 市川 裕美 他	7. 研磨 (2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 義歯の研磨法について、特にレーズを用いた研磨の注意点を修得することができる。</li> </ul>
第12回 6月29日 市川 裕美 他	7. 研磨 (3) 部分床義歯の完成, 提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 義歯の研磨法について、特にレーズを用いた研磨の注意点を修得することができる。</li> <li>・ 完成義歯を提出し、評価を受けることができる。</li> </ul>
第13回 7月6日 市川 裕美 他	8. 線鉤の設計 (1) 1) サベイング 2) 設計 3) リリーフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 線鉤および屈曲リングバーの製作工程を理解することができる。</li> <li>・ サベイヤーを使用し、義歯の着脱方向の決定、支台歯および顎堤のアンダーカットの計測を行い、支台装置と連結装置の設計の基本を理解することができる。</li> <li>・ 支台歯および顎堤のブロックアウトとリリーフについて理解することができる。</li> <li>・ 作業模型の製作法について理解することができる。</li> <li>・ 予測サベイングを行い、義歯の着脱方向を決定し、必要なサベイング操作を修得することができる。</li> <li>・ 線鉤およびリングバーの目的および働きを理解し、設計の注意点を修得することができる。</li> </ul>
第14回 7月13日 市川 裕美 他	8. 線鉤の設計 (2) 1) サベイング 2) 設計 3) リリーフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 線鉤および屈曲リングバーの製作工程を理解することができる。</li> <li>・ サベイヤーを使用し、義歯の着脱方向の決定、支台歯および顎堤のアンダーカットの計測を行い、支台装置と連結装置の設計の基本を理解することができる。</li> <li>・ 支台歯および顎堤のブロックアウトとリリーフについて理解することができる。</li> <li>・ 作業模型の製作法について理解することができる。</li> <li>・ 予測サベイングを行い、義歯の着脱方向を決定し、必要なサベイング操作を修得することができる。</li> </ul>

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・線鉤およびリングルバーの目的および働きを理解し、設計の注意点を修得することができる。</li> </ul>
第15回7月20日 市川 裕美 他	9. 2腕鉤(無鑑付け法屈曲2線法)の製作(1) 1) 鉤腕の屈曲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2腕鉤における屈曲法とプライヤーの基本的な使用法を修得することができる。</li> </ul>